

# オーストラリア政府機関が取り組む コンプライアンス対応



## Retain Unified Archiving の概要：

Retain Unified Archiving は、電子メール、ソーシャルメディア、モバイルコミュニケーションなどのデータを含むビジネスコミュニケーション全体に統合アーカイブを提供することで、ケース評価、検索、NetIQ eDiscovery を可能にします。オンプレミスにもクラウドにも導入することが可能です。

オーストラリアの政府機関は、電子コミュニケーションデータのアーカイブと保持に関する法規制やガイドラインに従うことが求められています。これらの規制に準拠することにより、罰金、制裁、およびその他の罰則を防ぎ、電子メール、モバイル、ソーシャルメディアの誤用に関わるリスクを回避できます。

政府機関が準拠すべき主な規制とガイドラインは次のとおりです。

### 1983 年公文書館法

オーストラリア政府の業務で作成または受信する電子メールは、連邦政府の記録とされます。電子メールは、1983 年公文書館法に従い管理する必要があります。しかし、すべてのメールが業務情報を含んでいて保存が必要になるわけではありません。一部の情報はあまり価値がないか、有効であるのは短期間のみです。オーストラリア政府のデジタル転換政策により、電子メールなどのデジタル情報はデジタル形式で管理する

必要があります。このため、電子メールを用紙に印刷して保存する必要はありません。業務メールは、求められる期間を通して有効に管理できるシステムに保存する必要があります。

### 2002 年公記録法

公記録は、政府組織の記憶です。その活動、決定、伝達事項の証拠となり、政府の責任を立証する材料となります。2002 年公記録法は、政府業務が行われる技術的または管理の状況を問わず、完全かつ正確な記録または公記録の保管により、業務の文書化、管理と保存を促進することを目的とします。同法は、記録保存の国家的、国際的なベストプラクティスを反映して、クイーンズランド州立公文書館の方針、標準と慣行を設ける法規制の枠組みともされます。また、電子コミュニケーションの過程で生じるデータの作成、記録、保持、アクセスに関する 2001 年電子商取引 (クイーンズランド) 法の要件を補うものです。

## 1982 年情報自由法 (FOI 法)

この法令はあらゆる人に対し、対象となる文書へのアクセス権を認め、政府が保有する自身の情報が不完全である、最新ではない、間違っている、あるいは誤解を招くおそれがある場合に変更または注記を請求し、文書へのアクセスが許可されない場合や個人記録の修正ができない場合に判断の見直しを求める権利を定めています。

## 公記録の保持および破棄— 情報標準 IS31

2002 年公記録法では、公文書館担当者の許可なく、公記録を破棄することが禁じられています。この情報標準は、クイーンズランド州立公文書館により管理されており、公的機関が公記録法に従い記録保存の要件を満たすことを主な目的としています。公的機関は、記録の評価と保存に責任を持ち、法律、管理、財務、研究、地域の要件や期待に応えられるようにする必要があります。継続的な価値があるとみなされる公記録は、特定後、承認された保持および破棄スケジュールで定めた最小限の期間、利用可能な形式で保存する必要があります。

### 公記録の保持

公的機関には、記録を利用可能かつ変更不可能な状態で決められた期間、管理し保存することが求められています。電子形式の記録の場合、新しい形式へのマイグレーションや、使用期間を終えた業務システムに残っている記録に対応した基本的な技術インフラストラクチャの維持などが含まれます。

## 2001 年電子商取引 (クイーンズランド) 法

電子商取引に書類契約と同等の有効性を認めた法律です。電子取引は、容易に複製可能な形式で保持し保存する必要があります。この法は、同州を含め、議会の法権力が認める範囲で、連邦政府およびオーストラリアのその他の州のすべての人に拘束力を持ちます。

**16 条:** 文書作成の要件。文書は、電子コミュニケーション (データ送信時の環境の電子形式) により作成することが求められます。

**21 条:** 電子コミュニケーションの維持。同法と連邦政府の 1999 年電子商取引法を受け、クイーンズランド州は統一された e コマースの国家的法制度に移行しています。この制度は、電子商取引を促進し、情報経済のイノベーションを推進することを目的とします。

この法には、次の基本的な特徴があります。

- 1 件以上の電子コミュニケーションで生じたことだけを理由に取引が州法で無効とされることはありません。
- 州法で課せられる特定の要件は、一般に電子形式で満たすことができます。これには、書面による情報の提供、署名の記入、文書の作成、情報の記録、文書の維持の要件があります。
- 州法には、電子コミュニケーションの送受信の時間と場所を判別するための条項があります。

電子署名の使用も認められていますが、法的に有効な電子署名システムの種類は定められていません。

## 政府機関が抱える規制上の問題を解消する Retain Unified Archiving の機能

OpenText™ Retain Unified Archiving は、電子メール、ソーシャルメディア、モバイルデバイスのコミュニケーションデータを統合的にアーカイブするマルチプラットフォーム対応ソリューションで、オンプレミスでも、クラウド上にも導入でき、ケース評価、検索、OpenText™ の NetIQ eDiscovery を支援します。エンドユーザーと管理者は、Retain Unified Archiving の Web Access Archive Viewer から Retain Unified Archiving のアーカイブに直接アクセスできます。このため、アーカイブされたコミュニケーションデータに対して迅速なアクセス、検索、監査が可能です。訴訟ホールドの実施とメッセー

ジデータの印刷、転送、保存、編集、エクスポートを簡単に行えます。Retain Unified Archiving により、コストを削減し、リスクを軽減し、オンプレミスやクラウドにおける複雑さに対応することができます。

Retain Unified Archiving を導入して、より効果的なアーカイブを実現してください。

**マルチプラットフォーム統合アーカイブ:** 電子メール、ソーシャルメディア、モバイルなどのメッセージデータがすべて 1 つの統合データアーカイブに保存されます。検索、公開、NetIQ eDiscovery を 1 か所で実行できます。

**柔軟なアーカイブアクセス:** Retain Unified Archiving は、エンドユーザーの電子メールクライアント、Retain Unified Archiving Mobile アプリ、ブラウザベースの Web アクセスクライアント、Offline Archive Viewer といったさまざまなアクセスポイントから直接ブラウズや検索ができます。さらに、アーカイブデータをスタンドアロンのポータブル



アーカイブビューアにエクスポートすることも可能です。

**ポリシーベースの統合アーカイブ：**Retain Unified Archiving では、アーカイブしたい電子メール、モバイル、ソーシャルメディアのコミュニケーションデータを定義するために、ポリシーを詳細に設定することができます。ポリシーにより、メールボックスタイプ、メッセージソース、アイテムタイプ、メッセージステータス、メッセージ保存期間、添付ファイルに基づいてアーカイブする対象を定義できます。フォルダーや添付ファイルのタイプを基準にフィルタリングすることも可能です。さらに、アーカイブ済みのすべてのデータに保持ポリシーを使用することもできます。

**ソーシャルメディアのアーカイブとモニター：**Retain Social はデータのアーカイブ、モニタリング、およびインサイト獲得のための機能を備えています。これにより組織は NetIQ eDiscovery を実行し、コンテキストに応じてメッセージを確認できます。また、Facebook、Twitter、LinkedIn、Instagram、Flickr、Pinterest、Google+ のあらゆる投稿と画像の傾向を判断しやすくなります。さらに、YouTube や Vimeo のすべての動画とコメントもアーカイブすることができます。

**コンプライアンスと管理：**エンドユーザーは管理者から事前に承認を得ることなく OpenText™ GroupWise、Gmail、Exchange、Office 365 のメッセージを自動的にページおよび削除できます。Retain Email で自動ページを無効にすれば、意思決定者に無断でメッセージが削除またはページされることはありません。また、SmartPurge を使用することもできます。メッセージの改ざんや削除を禁止することで、完全なアーカイブポリシー制御が実現します。これらの機能により、アーカイブデータの完全性とコンプライアンスが確保されます。

**Web Access Archive Viewer：**ブラウザベースの使いやすいインターフェイスと強

力な検索ツールを備えているのは、Retain Unified Archiving だけです。これらを使用して、アーカイブに対するアクセス、検索、NetIQ eDiscovery を迅速に実行できます。

**完全なエクスポート機能：**データを PST、PDF、またはスタンドアロンのアーカイブビューア形式で簡単にエクスポートできます。エクスポートされたファイルは、検索しやすくなるようにインデックスが付けられ、すばやく参照できるように目次が追加されます。

**ビルトインのアーカイブデータ検索およびブラウズ機能：**Retain Unified Archiving では、Google に似た検索ツールを使用して、1 か所のアーカイブ内にあるすべての電子コミュニケーションデータを迅速かつ容易に検索できます。メッセージタイプごとに複数のアーカイブやベンダーシステムを検索する必要はありません。ユーザーが検索語句を入力すると、すぐに検索結果が表示されます。また、検索語句の入力時に検索候補(件名、本文、テキスト、電子メールアドレス、タグ、ユーザーなど)を提示する機能もあります。制限付き正規表現もサポートされており、社会保障番号やクレジットカードなどの検索が可能です。重複したレコードは検索から除外されるため、検索のヒット数を抑えられます。さらに、詳細検索機能テクノロジーにより、関連するデータセットでアーカイブリポジトリ内不在のものについて検索、対処、NetIQ eDiscovery を実行することもできます。検索ウィザードを使用して正確な検索条件を作成することも可能です。

**メッセージングスレッド：**ソーシャルメディアメッセージは元のメッセージ文字列のままアーカイブされるため、容易に検索して、元の状態で表示できます。

**編集管理：**エクスポートしたデータは編集が可能です。個人情報や他の編集済み項目をオープンレコード要求に含めないようにすることができます。



**訴訟ホールド：**Retain Unified Archiving では、将来の訴訟で証拠になる可能性のある電子メールを訴訟ホールドの解除まで保護するために、アーカイブした項目にフラグを付けて削除などの行為から守ることができます。

**監査証跡：**Retain Unified Archiving では、管理者およびアーカイブの検索権限を持つユーザー全員について、検索可能な監査証跡が作成されます。これにより、すべてのアクティビティを記録できます。

**機密性の高いスマートなルールベースのタグ付け：**管理者やエンドユーザーは、カスタムタグを作成してアーカイブ内のメッセージに付けることができます。監査官、管理者、および権限を持ったユーザーは、アーカイブされたメッセージに「機密」マークを付けることができます。こうしたマークが付いたメッセージは、権限を持つユーザーのみ閲覧や検索が可能です。また、正規表現などの設定条件に従い、アーカイブ中のメッセージにタグや「機密」マークを付けることもできます。検索可能なこのタグにより、NetIQ eDiscovery 対応が容易になります。

#### 参考情報

[OpenText の CEO、  
Mark Barrenechea のブログ](#)



**権限を設定可能：**アクセス制御リストを使用すれば、Retain Unified Archiving システムの機能へのアクセス権をユーザーや管理者、その他の人へ役割に基づいて付与できます。

**エンドユーザーのメールボックス管理：**Retain Unified Archiving Web Access Archive Viewer により、データを容易に検索および復元できます。エンドユーザーは、メッセージの検索、転送、印刷、復元、アクセス、表示を、元のコンテキストのまま、管理者のサポートなしに行えます。

**高速かつ容易な取得：**Retain Unified Archiving には、Lucene インデックスエンジンまたは大規模な導入用の Retain Unified Archiving High Performance Indexing Engine が組み込まれています。

詳細情報はこちら：

[www.microfocus.com/opentext](http://www.microfocus.com/opentext)